

かさおか

発行所

天理教笠岡大教会

かさおか編集掛
笠岡市用之江377
郵便番号714-0066
(0865)

電話 66-1311
FAX 66-1314



稲富士分教会

昭和56年6月26日 設立
昭和56年7月13日 鎮座祭
昭和56年7月14日 奉告祭

本年の活動目標

「おぢぼがえり」

- ・「喜びいっぱいのおたすけ」を目指し、さあ、おぢぼに帰ろう。
- ・「人だすけのおぢぼがえり」を通して、ぢぼ一つに心を寄せよう。



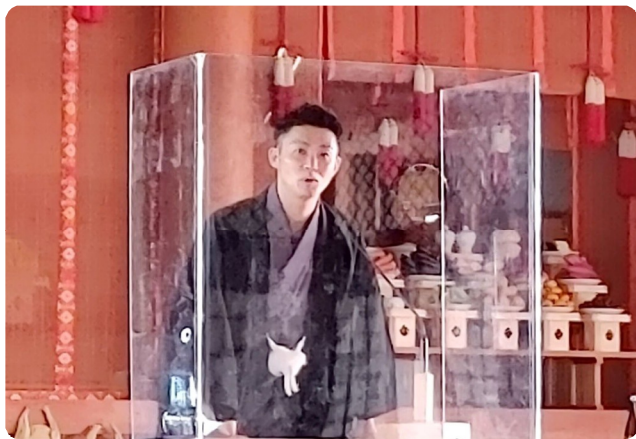
布教推進講習会 開催

9・21 祭典後

布教部

布教部(田中隆之部長)は、9月21日祭典講話に替え、安藤吉人先生(前青年会本部委員長・本愛大教会長を招いて、布教推進講習会を開催。

先生は、物事のめまぐるしく変化する現代においてその時代に合わせた様々な方面からの布教をされている貴重な体験をお話しくだされた。



澆刺(はつらつ)とお話しくださる安藤先生

昨年大教会長のお許しをいただき就任したが、就任翌日、表統領室に本愛の部内教会から離脱を申し出る書面が届いた、との連絡が入った。私の大教会長としての勤めは事情を治めるところから始まった。

出鼻から色々悩まされたが、コロナなどで時代が変化している時に、今自分のできること、思いつくことを精いっぱいやっていかないと、お道はどんどん縮小してしまうと考えた。本愛大教会では、失敗も多くあるが思いつく限りのことを行うようにしている。その中に YouTube の立ち上げがある。

YouTube にはお道のお話を載せているが、未信者の方からも問い合わせがある。それにはすぐに応じるようにしている。全て SNS を通じての出会いだが、これは教祖が先回りして自分に必要なご縁を繋いでくださっていると思う。

このところ緊急事態宣言が相次ぎ、教会活動の縮小を余儀なくされている現状がある。このままだと教会はどうなってしまうのだろうかと思うが、最近スマートフォンなどすぐに連絡を取り合える時代になっている。東京の後輩と連絡をしているときに、「名古屋

の友達ですごく悩んでいる人がいる。話を聞いてあげてもらえないだろうか。」と依頼された。すぐに連絡をと

り、その男性に教会に来てもらった。その男性は名古屋駅の IT 企業の社員で、一人で30億円稼ぐやり手の営業居を構える年商40億円の IT 企業の社長。コロナなどの影響で会社を解雇され、マイホームのローンが残っている。さらに先月子どもが生まれたが、内反足で歩けるようになる確率は30%だと医者から言われた。その男性の肩に乗った荷物を一つずつ降ろしてもらえたらという思いで話を聞くうちに、「気持ちが悪くなった、自分はどうすればいいか」と。人に喜んでもらうことが徳積みになるから、近所の掃き掃除を毎朝一緒にしようと言った。掃き掃除の徳積みを続ける中に、内反足の子どもにおさづけをお取次ぎした。数日後電話があり、「子どもの両足の手術が必要と言われていたが、片足だけでよいと言われた。神様ですかね、ありがたい。」と。またその後再就職も決まったようで、次第に身上事情のご守護を頂いた。私自身がコロナの状況下で教会活動をどうすればいいか悩んでいたが、ひとだすけに向き合うう

ちに、自分の心が少しずつ晴れていくように感じた。

世間がコロナに非常に敏感だった2年前の1月3日に、他系統の先輩から、「コロナにかかった」と電話がかかってきた。聞くと、親族から非難を浴び、世間にばれたらどうしよう、これからどうしようかと不安な気持ちでいっぱいとのこと。私は、「先輩、心配するのはやめましょう。案じれば案じる理が回る、と言うでしょう。神様にもたれましょう。」と伝えた。毎日連絡をして様子をうかがっていたが、コロナに対する世間の目が厳しい折ということもあり、先輩は私に、「コロナのことを誰にも言うな」と度々念を押した。しかしその後、ぶつかりと連絡が取れなくなった。その先輩には大動脈解離の持病があったのでとても心配したが、しばらくして連絡があり、コロナが重症化して危ないところだったが一命をとりとめたとのことだった。さらに1か月後、また連絡があり、「奇跡が起きた」。先輩の主治医の説明によると、「大動脈解離の手術でふさぐ予定にしていた箇所が、コロナによってできた血栓によって奇跡的にふさがれている。人間業ではない、もう手術の

必要はない。」とのこと。「安藤君、神様はおるなあ。コロナになって、何で自分だけ、バレたらどうしようかと、真つ暗いトンネルに入った気持ちになつた。しかし神様は、不安のトンネルを抜けた先に思ってもみないような大きなご守護を下さることがある。これまでにコロナのことを誰にも言うなど言っていたが、俺の話をどこでも話してくれ。」先輩はそう言ってくれた。

この先輩を通じて、人は鏡、私自身の不安な気持ちを親神様が教えてくださっていた。自分が教会長としてこれからどうやって行ったらいいかという不安な気持ちがあることに気づき、不安に思うことはいらんなあと悟つた。親神様にもたれて、目の前のできることを思いつく限り、とにかく精一杯やってみよう、失敗したら失敗したときに修正したらいい、そんな思いにならせていただいた。

先ほどお話しした内反足の男の子、1歳半になり、一歩二歩と歩き出した動画を父さんが送ってくださいました。「歩けるようになる望みが30%しかなかった子が歩けるようになりました。これも神様のお陰です。ありがとうございます。」と。その後2人目の子

どものおびや許しを頂きにおちばにも帰参して下さい、大教会にも時々参拝して男の子は元気にうちの神殿を駆け回っている。また、冒頭で話した部内教会離脱問題も、信者宅を一軒一軒回り、解決の方向に向かっている。

本愛の部内会長の大半は60歳を超えており、ねりあい「わしらはもう歳やから」という声も聞くが、年齢ではないと思う。何歳になっても、よしやるぞ、という気持ちがあれば何事もうまくいかなければいけないか。ケンタツキー・フライド・チキンの創始者カーネルサンダーさんは65歳で創業された。1009件断られ続けて1010件目にやっと1店舗開店し、90歳で亡くなる時には全米に6千店舗を構えるまでになった。彼の言葉に、「できることをやろう、やるなら最善を尽くせ」とある。つまり心一つということ、心次第でいかようにもなる。このことは私たち信仰者にとって大切なことだと思ふ。

もうすぐ年祭活動に入るが、教祖が私たちの勤めを何倍にも受け取ってくださるのが年祭活動。心定めをしなればならないなどと心が苦しくなる方向に向かうのではなく、年祭を楽しん

YouTube

本日も本愛YouTubeをご覧いただき

#おつとめ #天理

【物の豊かさのご守護に恵まれるためには】
現代に生かす「用木の道」シリーズ12

1,234,567 回視聴

1,234,567 共有 保存 報告

Hon-ai Grand Church 天理教本愛大教会公式チャンネル
チャンネル登録者数 1,234,567人

で通ることが大切。最後のおさしづに、
どうであろうこうであろうと、困難の中で皆心を合わせ、もう一度十年何でも彼でもというはなかくの精神。その精神というは、神の自由受け取りたる精神。何も皆、身上は成つても成らないでも案じてくれる事要らん。篤と心を鎮め。皆々心勇んでくれ。

とある。
最後に、案じることなく心勇んで、心ひとつで成ってくるということを、社会にまたお道の中に映していけるようにお通り頂くことを皆様にお願ひして講話に代えさせていただきます。

《以上要約：副部長・佐藤真孝》

(M40・6・9)

高屋分教会創立130周年記念祭が執り行われる

天理教高屋分教会創立130周年記念祭が、立教185年9月17日(土)に、大教会長ご夫妻、前大教会長ご夫妻をお迎えして、武内正美会長祭主のもとに執り行われました。コロナ禍の中、210人の参拝者が集いました。参拝者の間隔を空けたり、参拝場を複数箇所に分散したりなど、出来る限りの新型コロナウイルス感染症感染防止対策を講じての開催となりました。

まず、大教会長様はご挨拶で、高屋分教会の元一日である初代会長様の歩みを振り返られながら、「教会設立時に親神様と約束したことを、末代かけて通らせていただくことが大切である。」と、記念祭を迎える意義を丁寧にわかりやすくお話してくださいました。その後、参拝者一同は喜び心いっぱいにおつとめをつとめました。



大教会長様のご挨拶

高屋分教会創立百三十周年のスローガン

「おたすけの歩みをふたたび」

実践項目 「おつとめ・おたすけ・おちばがえり」

祭典後は、次の世代を担う若者たち有志による、「琴と尺八のコラボ演奏」が披露されました。会場内は邦楽の力強く美しい音色に包まれて、記念祭を祝う心もさらに最高潮に達しました。大教会長様からも「演奏を聞いて涙が出ました。」とお喜びのお言葉を頂戴しました。いつまでも拍手が鳴りやまず、短い時間ながら工夫を凝らしたアトラクションとなりました。最後に、「記念祭の御供え物をおたすけに使わせていただく」という合言葉のもとに「おさがり抽選会」が、さらに高屋につながる信者さんのお店からの協賛品を含めた豪華賞品「130周年抽選会」が行われました。参拝された方々は、一喜一憂しながらも、満面の笑顔の中で、勇み心いっぱい記念祭をつとめて、一日を終了しました。

【参拝者の声】

頂戴した記念品の中に、紙に包まれたピカピカの五円玉がありました。「これからも御縁がありますように」とのメッセージと受け止めさせて頂きました。一日も早い日常に戻りますことをお祈り致します。記念祭に向けて、大勢の皆様がご苦労され、盛大に終わられてほっとされておられることでしょう。お世話になりました。これからの教会の益々のご発展をお祈り致します。
(記念祭後に送られてきた一通の手紙より)



九月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます

親神天理王命の御前に 会長上原明勇 慎んで申し上げます

親神様の絶え間ない御守護により 厳しい暑さも少し和らぎ 耳にする虫の鳴き声に 夏から秋への季節の移り変わりを感しながら 結構に日々を過ごさせて頂いております事は 誠に有難く 勿体ない極みでございます 私共は常に変わる事なく 頂戴する親心と御守護に 日夜お礼を申し上げますと共に 感謝の思いから 一条のご用の上に 努め励ませて頂いております

その中にも 今日の吉日は これの笠岡にお許し下されたおつとめを勤める日柄でございますので 只今からおつとめ奉仕人一同 明るく陽気に勇んで坐りづとめてをどりをつとめて 九月の月次祭を執り行わせて頂きます 御前には 今日の日を 楽しみに 寄り集いました 道の子供達が 相共にお歌を唱和し 頃のご高恩に 改めて御礼申し上げる状をご覧下さいまして 親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

さて 今月は 月末に全教一斉に いがけデーが 開催されます また 本日は 本愛大教会 長安藤吉人先生に お越し頂き 布教推進講習会を開催致します 物事のため ぐるしく 変化する現代において その時代に 合わせた 様々な方面からの 布教を されている 貴重なお話を 聞かせて頂き これを 今後 に活かして これまで以上に いがけおたすけに 努め励ませて 頂く 所存でございます 何卒 親神様には 親孝心一筋に 御恩報じに 邁進する 皆の 真実の心をお受け取り 下さいます 万たすけの上に 自由のご守護を お現し下さり 世界中の人々が 親心に 触れ 一列兄弟の理に 目覚めて 御恩報じを 実践する 人が 弥増して お望み下さる 陽気ぐらしの 世の 状へ とお導きの 程を 一同と共に 慎んで お願い申し上げます

立教百八十五年 九月月次祭 祭典役割表

講話		祭主		賛者		指図方		十一月講話																										
布教推進講習会		武内 清明	吉岡 誠一郎	大教会 長様		赤木 素志		海外伝道講話																										
役割	区分	坐り勤																																
		田中 隆之	田林 久嗣	中村 義太郎	大教会 長様	前会 長様	上原 繁道	前奥 奥様	大教会 奥様	おつとめ	をどり	笛																						
地方	役割	前半																																
		佐藤 道孝	谷内 伸自	上原 繁次	中島 誠治	今川 昌彦	虫明 立生	武内 正美	門脇 加津	岡崎 治喜	山野 弘実	三島 渉																						
地方	役割	後半																																
		岡崎 真一	武内 清明	山田 敏教	上原 志郎	上原 浩	横山 逸郎	谷内 美知子	横山 小智	中村 初美	杉原 善朗	内海 史郎	浅野 明教																					
控	え	三味線		小鼓		太鼓		拍子木		ちゃんぽん		笛		おつとめ		をどり		地方		役割		区分												
		今川 佐智子	佐藤 香苗	上原 順子	今川 昌彦	渡邊 隆夫	森本 忠善	赤木 素志	内海 安子	三島 照美	高木 孝子	岡田 誠	吉岡 誠一郎	門脇 元教	吉岡 誠一郎	山野 弘実	三島 渉	高木 昭祥	森本 忠善	赤木 素志	内海 安子	今川 昌彦	上原 順子	佐藤 香苗	今川 佐智子	岡田 誠	田中 誠	中村 誠	大教会 長様	前会 長様	上原 繁道	前奥 奥様	大教会 奥様	おつとめ

秋季霊祭祭文

これの笠岡大教会の祖霊殿にお鎮まり下さいます本席様の神霊 初代真柱様並びに奥様の神霊 二代真柱様の神霊 大教会創設の祖上原佐吉大人八重刀自の神霊 初代会長上原さと刀自の神霊 二代會長上原伊助大人光刀自の神霊 三代會長上原繁雄大人くに多刀自の神霊 四代会長上原郁雄大人朝子刀自せい子刀自の神霊 歴代会長と共に笠岡の道の上に真実を尽くされた役員部内教會長 教人 よぶく信者の神霊 諸々の神霊の前に 會長上原明勇 慎んで申し上げます

祖霊様方には 教祖を通して親神様の真実の御心とお働きとを知り かしものかりものの喜びと感謝の心からご思報じの道をお通り下さいました 今日結構な笠岡の道の姿があるのも 祖霊様方が真実を尽くして下さいましたお陰と日々は朝夕に御礼を申し上げると共にたすけ一条の上に努め励ませて頂いております

その中にも本日は秋の霊祭を執り行う日柄でございますので 御前に心づくしの種々の物を供えて 只今はおつとめ奉仕人一同 親神様の御前にてをどりをつとめさせていただきます 続いて祖霊様方の御前に座を移し在りし日を偲び御遺徳を称え お礼申し上げます 皆の真実の姿をご覧下さいまして 祖霊様方にもお勇み下さいますようお願い申し上げます

さて今年笠岡では 次なる塚教祖百四十年祭に向かって 「おちばがえり」を主眼に置いて活動を推し進め それぞれに人だすけのための勇んだおちばがえりをさせて頂いております その中にもいよいよ来月十月二十六日には 諭達第四号をご発布頂きます 年祭に向けて笠岡一丸となって 成人の旬たすけの旬たる三年千日活動を勇んでつとめ 仕切つての成人の歩みを進めさせて頂く所存でございます

何卒祖霊様方には どんな中でも親孝心一筋で たすけ一条に邁進する皆の真実の状をご覧下さいまして より一層笠岡のたすけの道が延び広がります ようお力添えの程を 一同と共に慎んでお願い申し上げます

立教百八十五年 秋季霊祭 祭典役割表

祭主	大教會長様	賛者	浅野明教
扈者	今川昌彦	指図方	上原繁次
	横山逸郎		上原繁道

役割	区分	地方		おつとめ		笛		ちゃんぽん		拍子木		太鼓		すりがね		小鼓		琴		三味線		胡弓														
		前	半	後	半	上	前	浅	上	上	浅	上	浅	上	浅	上	浅	上	浅	上	浅	上	浅	上												
	前	岡田誠	山野弘実	前	奥	上	原	浅	野	上	原	浅	野	上	原	浅	野	上	原	浅	野	上	原	浅	野											
	半	大	中	大	奥	上	原	浅	野	上	原	浅	野	上	原	浅	野	上	原	浅	野	上	原	浅	野											
	後	岡崎真一	三	虫	明	高	木	岡	崎	吉	岡	崎	和	美	高	木	岡	崎	吉	岡	崎	和	美	高	木	岡	崎	吉	岡	崎	和	美				
	半	武	内	武	内	高	木	岡	崎	吉	岡	崎	和	美	高	木	岡	崎	吉	岡	崎	和	美	高	木	岡	崎	吉	岡	崎	和	美				
		岡崎真一	三	虫	明	高	木	岡	崎	吉	岡	崎	和	美	高	木	岡	崎	吉	岡	崎	和	美	高	木	岡	崎	吉	岡	崎	和	美				
		武	内	武	内	高	木	岡	崎	吉	岡	崎	和	美	高	木	岡	崎	吉	岡	崎	和	美	高	木	岡	崎	吉	岡	崎	和	美				
		森本富美子	吉岡誠一郎	三島涉	杉原善朗	赤木素志	岡崎豊子	田中つかさ	上原千枝子	武内正美	森本富美子	吉岡誠一郎	三島涉	杉原善朗	赤木素志	岡崎豊子	田中つかさ	上原千枝子	武内正美	森本富美子	吉岡誠一郎	三島涉	杉原善朗	赤木素志	岡崎豊子	田中つかさ	上原千枝子	武内正美	森本富美子	吉岡誠一郎	三島涉	杉原善朗	赤木素志	岡崎豊子	田中つかさ	上原千枝子

・ 詰所からのお願い ・

● 詰所での宿泊・喫食について

・ 詰所で宿泊・喫食される場合は、「教会名・代表者名・泊数・食数」を、**《2日前までには、必ず》**ご連絡ください。 …… **部内教会・信者に徹底願います。**

大教会だより

II 教会指令 II

◎任命願

出雲 分教会

*前任 鳥谷秀夫

*新任 高島哲雄



高島哲雄氏

◎立教185年秋季大祭参拝(*は11月)

*修了者

照陽 吉岡稜真

三ヶ月目 ⑤ 中島誠治

⑥ 瀬藤友昭

⑦ 島根分教会長

(大惠山分教会長)

⑧ 鶴山分教会長

⑨ 三代信行

(米美分教会長)

☆奉告祭 立教185年10月30日

立教185年9月25日承認

◎第九七三期修養科

自 立教185年7月1日

至 立教185年9月27日

*教養掛(⑤主任、⑥副主任)

一ヶ月目 ⑤ 佐藤真孝

(大教会准役員)

芳井分教会長

⑦ 三阪泰人

(福岩分教会長)

二ヶ月目 ⑧ 門脇元教

(大教会役員)

東悠	海松ケ岡	芳井	陶山	ひろさと	興明	金浦	摩耶	陽備	弥高山	鶴山	久松	島根	神邊	高屋	福山	立教185年秋季大祭参拝(*は11月)
佐藤道孝	上原志郎	大教会長様	田中隆之	上原繁道	武内正美	大教会長様	大教会長様	武内正美	大教会長様	上原繁道	佐藤道孝	上原繁道	中島誠治	岡崎真一	大教会長様	

去る8月28日の明け方4時前、少し身体に異変を覚え熱を計ると39度の発熱、やばいこれはコロナかも?その日は5時には仕事に出



神免	錦備	美之郷	神昭	備中	*湯田原	葦陽	驛家	島中	服部	*東城	府中市	上野	明石市	皆部	新山邑	輝美濃	*照陽	吸江
前会	田中	岡崎	上原	上原	中島	田中	中島	岡崎	岡崎	上原	上野	岡崎	上野	門脇	上原	佐藤	中島	前会
長隆	真一	真一	繁道	繁道	誠治	隆之	誠治	真一	真一	志郎	志郎	真一	真一	元教	繁道	道孝	誠治	長様

る日で、すぐ、仕事先に連絡し休む旨了解を貰い、夜明けを待っては平熱に下がっていましたが、その日の午後電話で新型コロナウイルスに感染しておられます、保健所の指示に従って下さい。との連絡。アララ!その日から10日間部屋から出してもらえず、缶詰め状態でした。幸い家族は感染しておらず、仕事先も皆陰性だとの連絡を受けホッとしました。月初めの月次祭も皆様方に参拝をご遠慮頂き家族のみで勤めさせて頂きました。ここ3年、参拝を自粛して頂き家族だけでの月次祭は6回目になります、今後どうなりますやら?...それにしても全く部屋から出られない日々は大変ストレスとなりますね、殊にほとんど無症状だっただけに!12日目に仕事に出た時は、兎に角元気で働けることに、動ける事に、嬉しい気持ちになりました。間もなく教祖140年祭に向けての論達が御發布されます、それぞれの立場で嬉しい・嬉しい年祭活動にしたいものです、と無理矢理結びました。(K・I)

教祖140年祭 本部巡教

- 日時** 11月21日(月)午後1時
- 巡教員** 本部員 井筒梅夫先生
- 対象者** ①大教会おつとめ奉仕人
②教会長夫妻
③布教所長
※対象者は、万障繰り合せてご参加ください。
- 服装** ・大教会役員(承事以上):羽織袴
・男性:ハッピーネクタイ
・女性:これに準じた服装
- ※なお、11月月次祭後の祭典講話はありません。

TENRIKYO



おつとめをする



ひのきしんをする



おぢばがえりをする



にをいがけをする



おたすけをする

[HOME](#) > 検索結果

検索結果 search result

教祖140年祭 の検索結果: 35件

教祖140年祭活動に向け「教会未来プロジェクト」始動 - 神崎大教会

神崎大教会(藤原親蔵会長)は、教祖140年祭活動の取り組みとして、このほど「教会未来プロジェクト」を立ち上げた。

これは、『みちのとも』立教185年6月号掲載の「両統領インタビュー 教祖百四十年祭三年千日を前にいま教会長としてすべきこと」を踏まえ、部内教会長が教祖140年祭活動を勤めていけるよう、大教会たすけ委員会が企画したもの。

その第一歩として、9月24日の大教会月次祭の後に教会長夫妻を対象としたねりあいを実施。35人が参加し、事前に配布したねりあいシートをもとに、教会の現状を見つめ、年祭活動への糧にしようと意見を交わした。
〔神崎大教会・中村社友〕

【動画】「教祖140年祭に向かって 埼玉教区創立90周年記念大会」(2022年9月23日)

教祖140年祭活動に向け「スローガン」「お願いづとめ」「喜びおたすけ委員会」決行 - 北海道教区

北海道教区(奥村尚人教区長)では、管内教会が一手一つに教祖140年祭活動を推進するうえから、このたび「すべて喜び すべておたすけ 北海道教区」のスローガンを掲げた。

教祖年祭活動の要は「教祖のひながた」を常に心に置くことであり、ひながたとは「どのような中も喜び、すべて人だすけに歩まれた50年」である。今回、スローガンを掲げた意図は、教区管内の教友がひながたを胸に、共々に年祭活動を進めようというもの。スローガンが表記された「缶バッジ」を4種類作成し、全教会に配布した。

.....

〔北海道教区・加地代表社友〕